

豊岡まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度 第1回

会議概要	
日時	令和6年6月5日(水曜日) 午後6時00分～午後7時00分
場所	東部まちづくりセンター コミュニティスペース
出席者	委員11名（会長、副会長以下50音順） 高嶋会長，宇野委員，逢坂委員，北川委員，北島委員，小林委員， 清野委員，瀧本委員，千葉委員，長谷委員，宝住委員， （欠席者 石川副会長，大田委員，今野委員，佐竹委員） オブザーバー 高橋 地域まると支援員 事務局 市民生活部 樽井部長 地域活動推進課 岩崎次長，小松主幹 東部まちづくりセンター 鈴木所長，高尾 その他 愛宕公民館 角谷館長 社会教育課 小島主幹，山崎主査 渋谷 地域コーディネーター
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 豊岡まちづくり推進協議会委員名簿（令和6年4月16日現在）
	資料2 旭川市地域まちづくり推進協議会設置要綱
	資料3 豊岡まちづくり推進協議会の会議ルール（案）
	資料4 令和6年度地域で使える補助制度
	資料5 豊岡まちづくり推進プログラム
	資料6 愛あい（子どもの居場所）づくり事業実施計画書等資料一式
	資料7 豊岡まちづくりウォーキング事業実施計画書等資料一式

	資料 8 地域学校パートナー事業（旧 地域安全見守り事業）資料一式
	資料 9 令和 6 年度豊岡まちづくり推進協議会開催イメージ

議事の内容

1 開会

会長選任まで、事務局が進行を行う。

開会し、欠席者の報告があった。

2 市民生活部長あいさつ

樽井市民生活部長からあいさつがあった。

部長あいさつ終了後、社会教育課から「地域学校協働活動」についての説明及び地域コーディネーターの紹介があった。

3 委員及び事務局の紹介

委員改選後初めての会議であり、各委員と事務局及びオブザーバーの紹介が行われた。

4 会議の運営方法について

配付資料の確認を行った後、次第に沿って検討に入った。

(1) 会長選出

「旭川市地域まちづくり推進協議会設置要綱」第 5 条第 1 項の規定に基づき、高嶋委員が会長に選出され、本人も承諾した。会長選出に伴い、以後の進行を会長が行う。

(2) 副会長指名

「旭川市地域まちづくり推進協議会設置要綱」第 5 条第 1 項の規定に基づき、石川委員が副会長に指名された。石川委員は欠席であったため、事務局が石川委員に就任の意志を確認することとした。

（後日、石川委員に会長から副会長に指名されたことを伝え、本人も承諾した。）

(3) 会議のルールの確認について

資料3に基づき、事務局から会議のルールについて説明があった。

各委員からの発言要旨は次のとおり。

【会長】

会議ルール（案）を説明した理由を事務局から説明願いたい。

【事務局】

会議のルールについては、改選のタイミングで毎回説明している。令和4年度の改選時にも、簡単に概要は説明しており、そこから大きく変わっていない。今期についても、この会議のルールに従い進めさせていただきたい。

その他の委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

5 協議事項

(1) 旭川市地域まちづくり推進事業補助金・負担金について

事務局から資料4に基づき、令和6年度予算と補助金・負担金のメニュー及びスケジュールについて説明があった。各委員からの発言要旨は次のとおり。

【会長】

負担金のメニューの内、『逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト』は豊岡・新豊岡地区で昨年度実施している。これは、新たにこの事業を取り組むところに対して10万円を支給するという理解でよろしいか。

【事務局】

そのとおりである。

その他の委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

(2) 豊岡まちづくり推進プログラムについて

ア 豊岡まちづくり推進プログラムの内容について

資料5に基づき、事務局から令和6年3月31日時点のまちづくり推進プログラムについて説明を受けた。

イ 令和6年度豊岡地域で実施される課題解決の取組について

参考資料1に基づき、事務局から令和6年度に豊岡地域で実施される課題解決の取組について

説明があった。

令和6年度に実施される事業は以下のとおり。

- ・豊岡まちづくりウォーキング事業
- ・愛あい（子どもの居場所）づくり事業
- ・地域ふれかつマップ作成事業
- ・豊岡消防団活性化事業
- ・地域学校パートナー事業（旧 地域安全見守り事業）

すでに活動が開始されている事業について、実行委員会に所属している委員または事務局から次のとおり報告があった。

【委員】（愛あい（子どもの居場所）づくり事業）

- ・資料6により事業の内容を説明。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、来所する子どもが増えており、令和5年度は247人の子どもが来所した。また、「旭川市民まちづくりアワード」で大賞を受賞し、取組が評価されたことが実行委員のモチベーションにもなっている。
- ・最近参加者が20名を超える日も多く、口コミなどで愛あいの楽しさが広がっている。
- ・実行委員の皆さんと和気藹々とした雰囲気、子ども達と一緒に楽しい時間が共有できている。

【委員】（豊岡まちづくりウォーキング事業）

- ・資料7により事業の内容を説明。
- ・今までは年に1回実施してきたが、委員からの提案もあり、今年度は年2回の開催を目指している。
- ・1回目は6/26（土）の10:00から、豊岡地区センターをスタート・ゴール地点として、北部方面を回る。2回目は東部まちづくりセンターをスタート・ゴール地点として、南部方面を回る。
- ・子ども達から高齢者までの世代間交流、ウォーキングをしながらゴミ拾いを行うということで清掃事業への関与、また、地域発見を目玉の一つとして考えていきたい。

【事務局】（地域学校パートナー事業（旧 地域安全見守り事業））

- ・資料8により事業の内容を説明。
- ・昨年度まで「地域安全見守り事業」として登校時における児童の見守り活動を実施してきた。令和5年度は延べ104人の参加があった。
- ・令和6年度より、現在の委員構成を活かすとともに地域コーディネーターを加え、地域の子どもの成長や地域環境の向上に繋がる幅広い課題を検討できるように「地域学校パートナー事業」と改めた。
- ・登校時の見守り活動は継続していくが、実行委員会を通して、子ども達にとってより良い学校や地域環境づくりのために必要な取組を検討していく。

【事務局】（豊岡消防団活性化事業）

- ・豊岡地域と東光地域を管轄する消防団等が連携し、地域住民や事業所等に対して地域防災や自主防災に関する啓発を行うことで、防災意識の上昇に寄与することを目的としている。
- ・オリジナル物品を作成し、事業に活用していきたいと考えている。
- ・令和5年度は豊岡地域の旭川信金や旭川農協内の店舗でパネル展を開催した。また、東光地域と連携して高校生や地域住民を対象とした防災セミナーへの協力や豊岡地区センターにおいて地域住民を対象に消防訓練を実施した。
- ・令和6年度も地域住民や事業所を中心に啓発活動を進められるよう協議していく。

(3) 年間スケジュールについて

資料9を参考に、事務局より豊岡まちづくり推進協議会及び豊岡地域で実施される課題解決の取組について、また、市内全域のまち協委員等を対象とした研修会等事業について説明があった。

各委員からの発言要旨は次のとおり。

【委員】

資料2について、要綱中、豊岡まちづくり推進協議会の区域を示す新豊岡市民委員会の該当区域に市民委員会を脱退した町内会の区域を新豊岡市民委員会の区域として入れられるのは好ましくない。

【事務局】

まち協のエリアは市民委員会をベースするという考えがあり、該当区域という文言になっている。市民委員会に加入していないところを排除するということは当初の設立時には想定していないため、該当の住所が表記として残っているのが現状である。昨今、市民委員会を脱退したり解散したりしている町内会が増えてきているところで、市民委員会の該当区域と言い切ってしまう表現の仕方に問題があるということであれば、今後の設置要綱のあり方を考えるにあたっての一つの意見として受け止めさせていただくが、修正についてはここで断言することはできないため、検討するということでご了承願いたい。

【委員】

地図は良いが、表現が好ましくない。

【事務局】

設置要綱の見直し、表現の検討を行う際には、委員の皆様より御意見を伺う機会もあるかと思うので、相談させていただきたい。

【会長】

大きな問題であるため、事務局より市の担当者の意見も確認し、今後意見を調整していくということで次に進めたい。

その他の委員からは特に発言はなかった。

6 その他

【事務局】（事務連絡）

- ・「地域のチカラ」について
- ・会議の案内について
- ・会議出席に係る報酬について
- ・次回協議会の日程について
- ・豊岡まち協開始時間アンケートへの協力について
- ・実行委員会事業への協力について

7 閉会